

## II PowerPoint を使ったプレゼンテーション資料の作成

PowerPointはプレゼンテーションソフトの代表的な製品で、アイデアやサービス・製品を、視覚効果を用いてより効果的に伝える為のソフトである。PowerPointでは視覚効果としてスライドやアニメーションを用いて、アイデアやサービス・製品を頭にイメージしながら説明を受けられる様々な機能が用意されている。また、様々なビジネスシーンに対応した豊富なテンプレート（雛型）が用意されているので、プレゼンテーション資料の作成に不慣れな人でも、少し勉強しただけでかなり効果的なプレゼンテーション資料が作成できる。

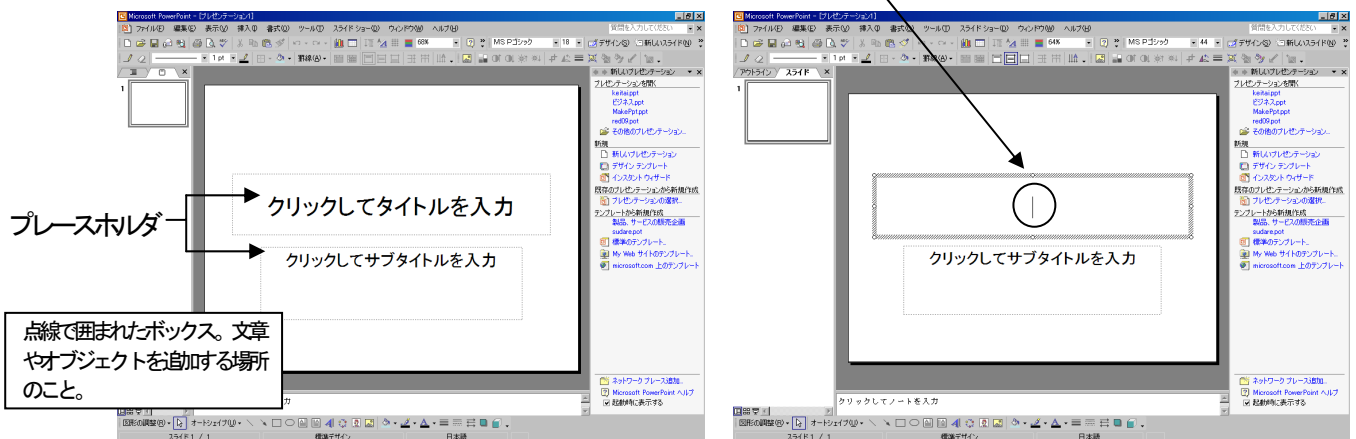
### 1. プレゼンテーション資料をつくってみよう

ここでは、プレゼンテーション資料を構成するスライドを作成するのに必要な操作を習得する。プレゼンテーション資料はスライドを何枚かつなげて完成するものであり、この操作によってPowerPointによるプレゼンテーション資料作成の流れをつかむことができる。

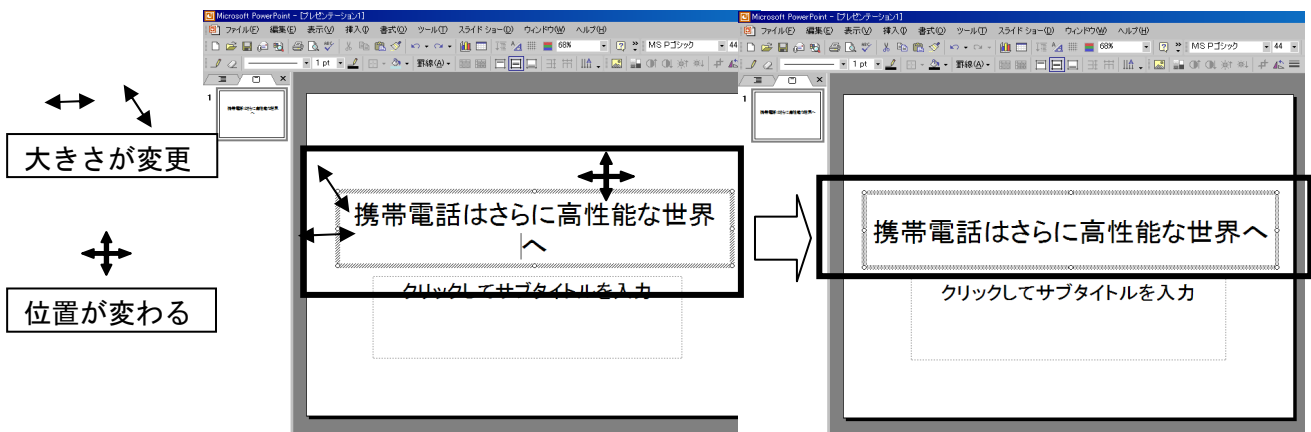
#### (1) スライドに文字を入力する

ア. PowerPoint を起動すると「プレゼンテーション1」という仮の名称で新しいプレゼンテーション資料が開く。

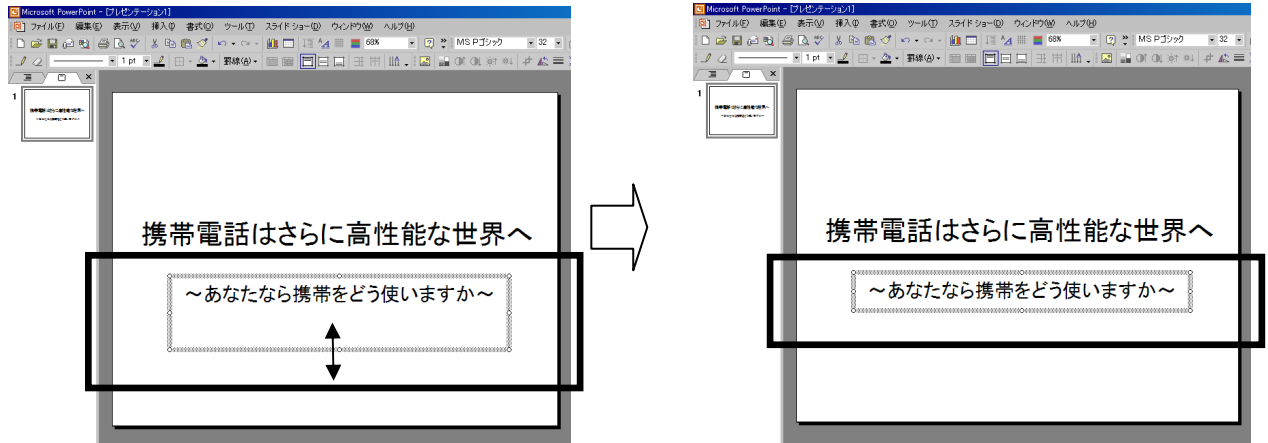
イ. タイトルのプレースホルダをクリックすると、文字挿入ポインタが表示される。



ウ. 文字を入力し、プレースホルダの外をいったんクリックする。このプレースホルダは自動的に2つタイトルを入力する形になっている。プレースホルダのサイズ・位置を変更するには周囲に表示されるハンドル口にマウスポインタを合わせ、目的の場所までドラッグし大きさ・位置を変える。ここではヨコの大きさをひろげ「へ」を1段にする。

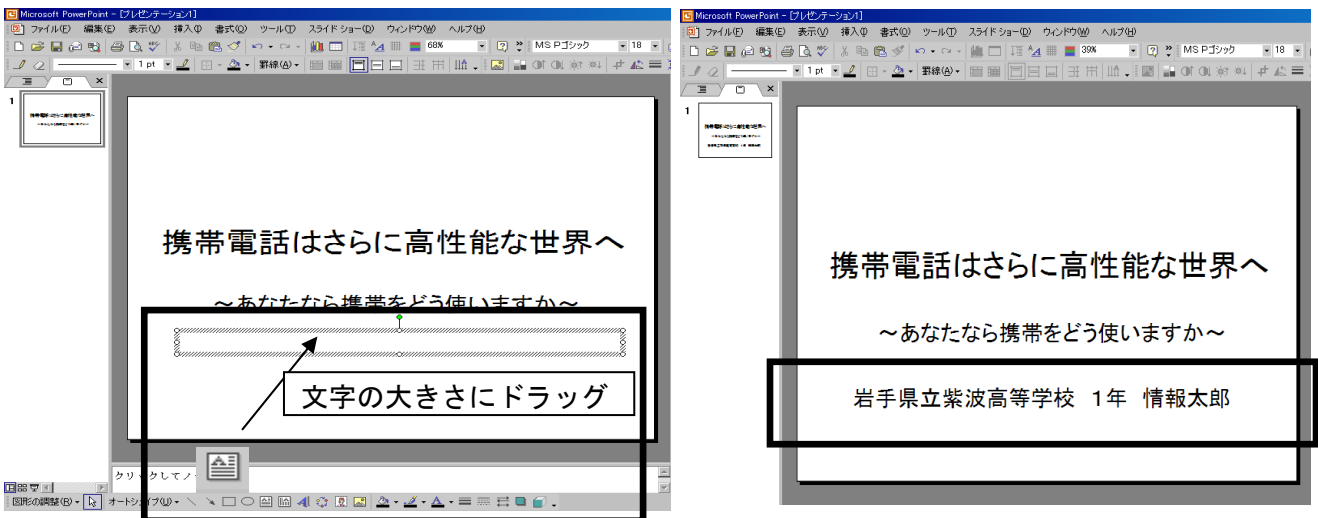


エ. サブタイトルのプレースホルダに文字を入力し、プレースホルダを文字の大きさにととのえる。

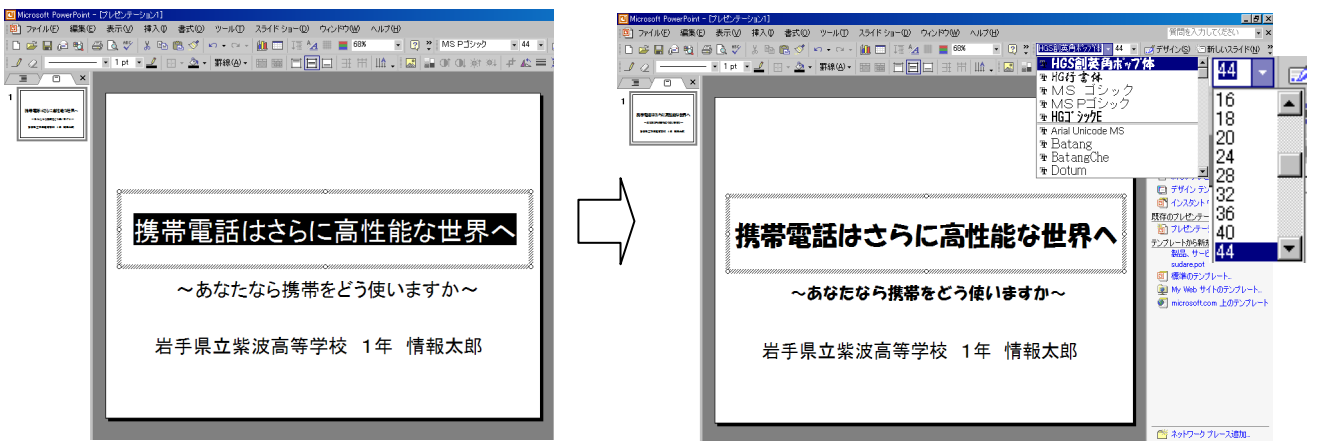


●文字入力後に **Enter** キーを押すと、プレースホルダ内で次の行に改行できる。また、プレースホルダなど自分の希望する位置に移動したい場合は、ドラッグしながら **Alt** キーを押す。

オ. 新しい文字を入力する。ここではテキストボックス(文字列などが入る領域)を使う。下にある図形描画内のコマンド、ヨコ書きテキストボックスをクリックし文字の大きさにドラッグする。学校名、学年、氏名を入力する。

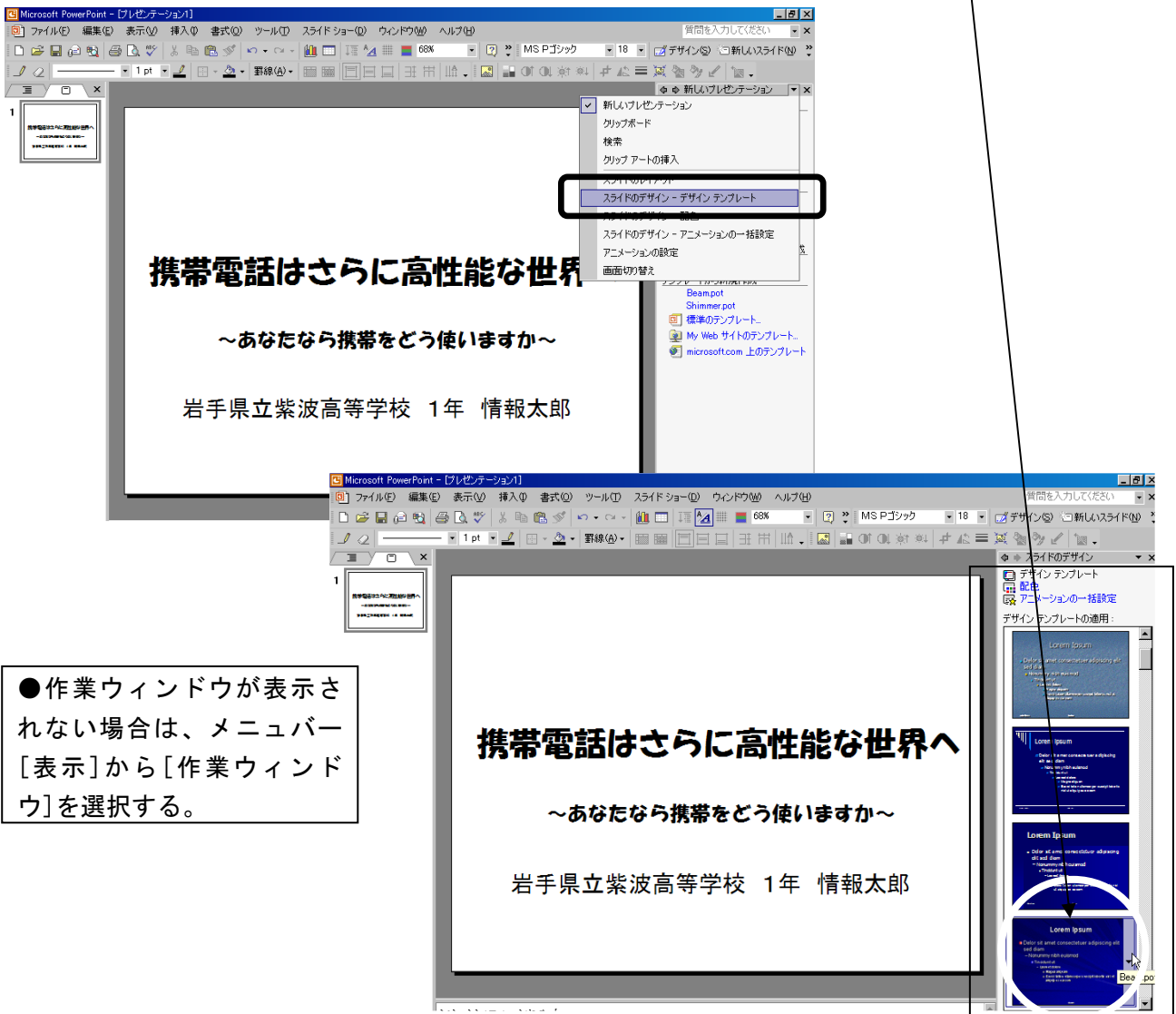


カ. 字体や字の大きさを変える場合は、テキストボックスの中の文字をドラックし、黒反転させ変更する。



## (2) スライドのデザインを変更する

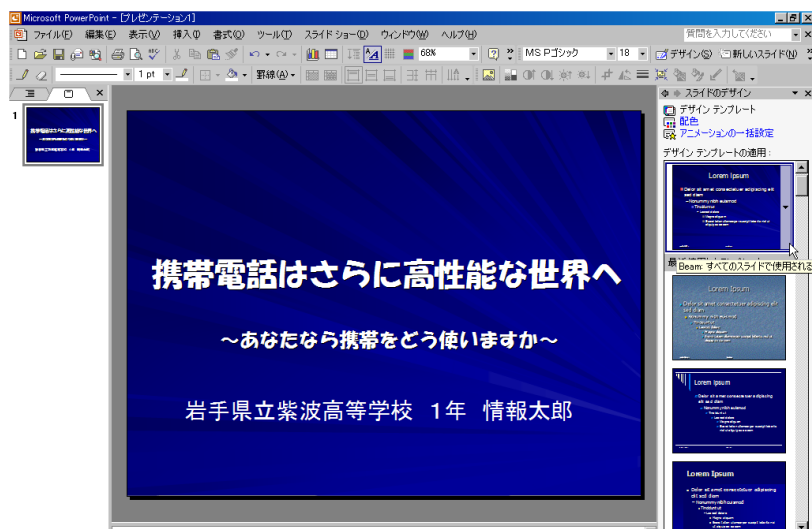
ア. 作業ウィンドウ[新しいプレゼンテーション]の▼をクリックし、[スライドのデザイン・デザインテンプレート]をクリックする。[使用できるデザインテンプレート]の一覧より[Beam]を選びすべてのスライドに適用をクリックする。



The image shows two screenshots of Microsoft PowerPoint. The top screenshot shows the 'Slide Design' task pane with the 'スライドのデザイン - デザイン テンプレート' option highlighted. The bottom screenshot shows the 'Beam' template selected in the task pane, with a red circle around the 'Beam: すべてのスライドで使用される' option. A text box on the left explains that if the task pane is not visible, it can be accessed from the 'View' menu.

●作業ウィンドウが表示されない場合は、メニューバー[表示]から[作業ウィンドウ]を選択する。

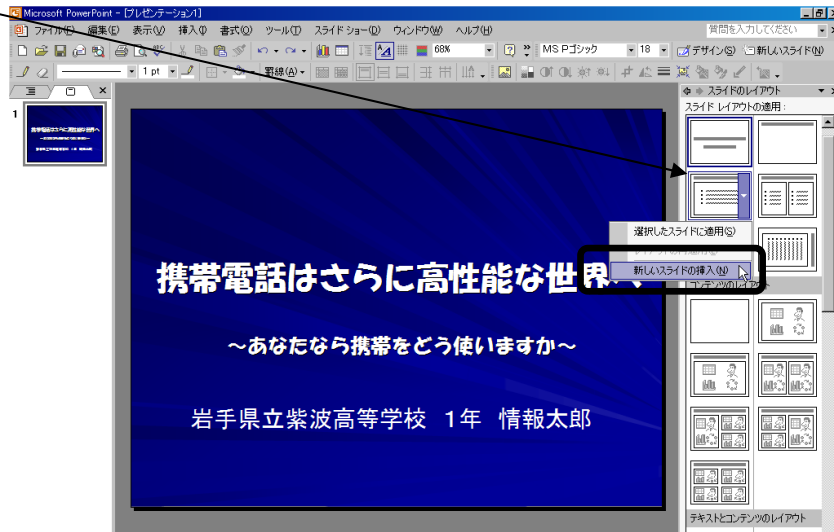
イ. 選択したデザインがスライドに適用される。



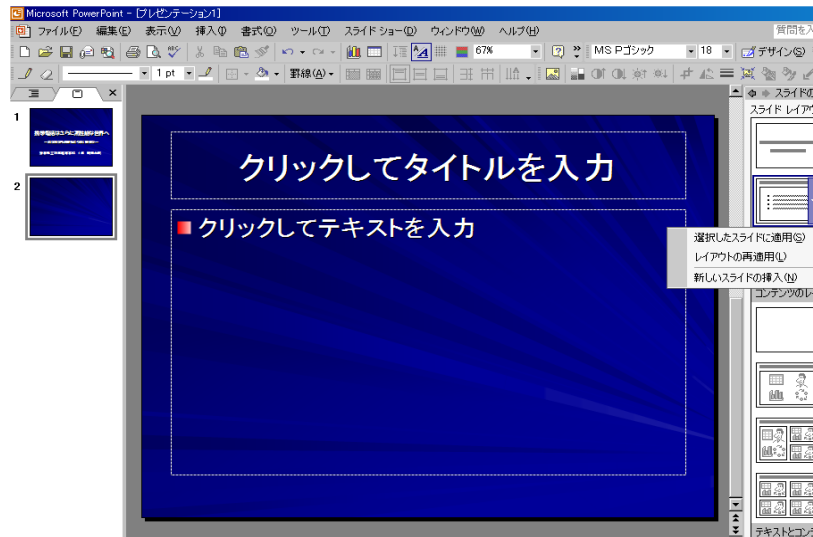
The image shows a screenshot of Microsoft PowerPoint where the 'Beam' template has been applied to the slide. The slide content is: '携帯電話はさらに高性能な世界へ', '~あなたなら携帯をどう使いますか~', and '岩手県立紫波高等学校 1年 情報太郎'. The task pane on the right shows the 'Beam' template selected.

### (3) 新しいスライドをつくる

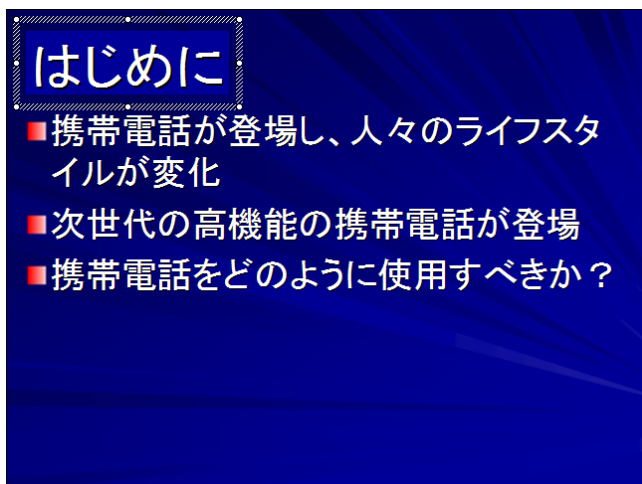
ア. 作業ウィンドウを[スライドのレイアウト]に切りかえ、[タイトルとテキスト]をポイントし、表示される▼をクリックする。



イ. [新しいスライドの挿入]をクリックすると2枚目のスライドが追加される。



ウ. それぞれのホルダに文字を入力する。

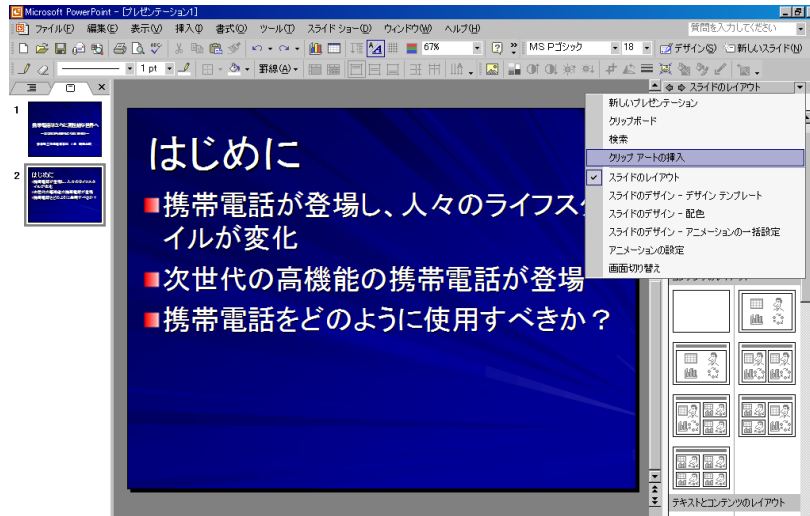


← MSPゴシック 大きさ 60

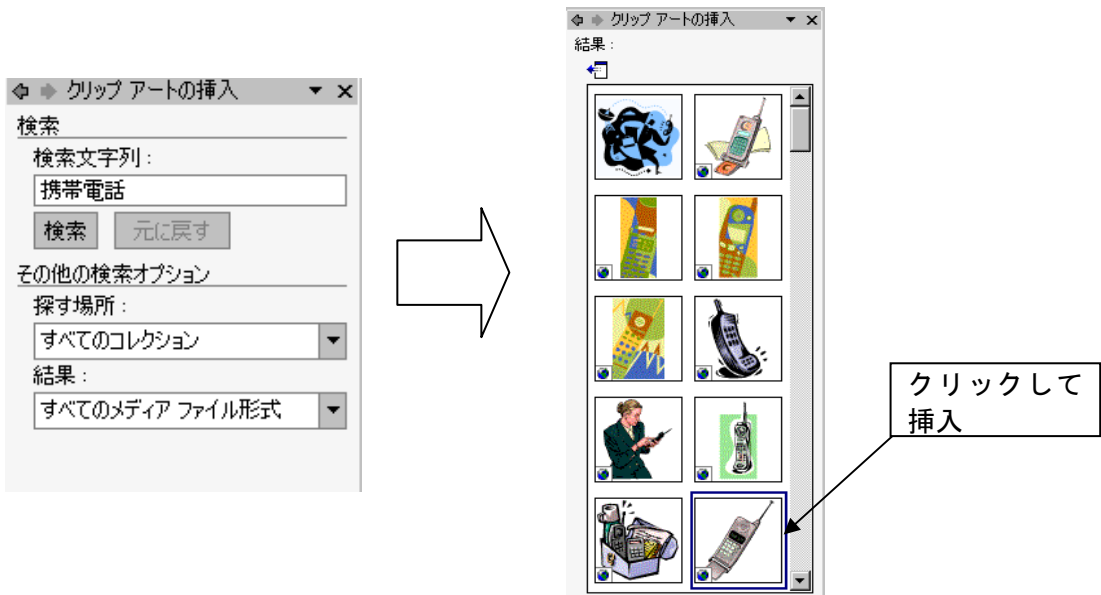
← MSPゴシック 大きさ 40

#### (4) イラストを挿入する

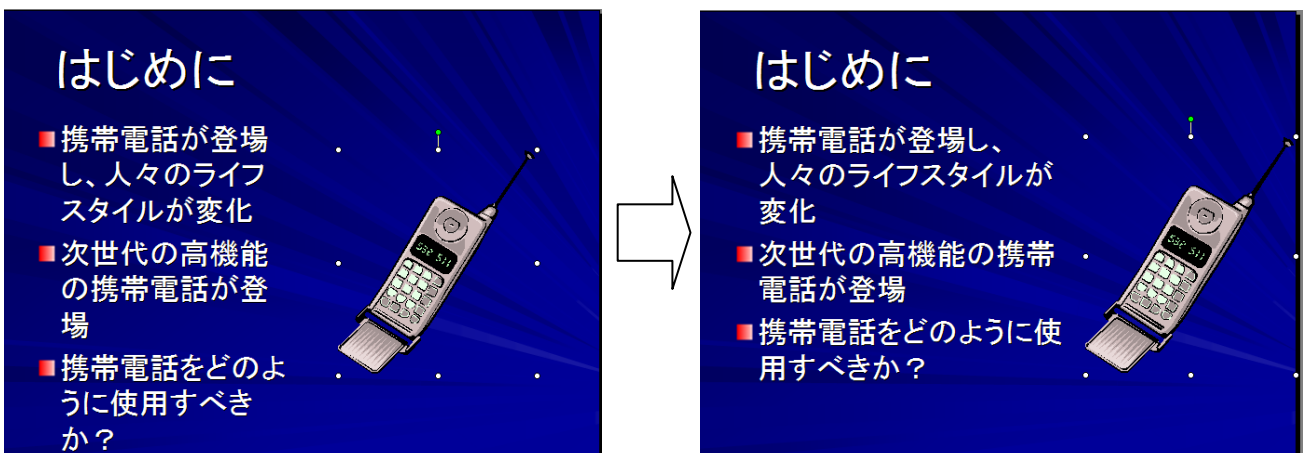
ア. 作業ウィンドウの[スライドのレイアウト]から▼をクリックし、[クリップアートの挿入]をポイントする。



イ. 検索文字列（キーワード）に「携帯電話」と入力し検索ボタンをクリックすると結果が表示される。

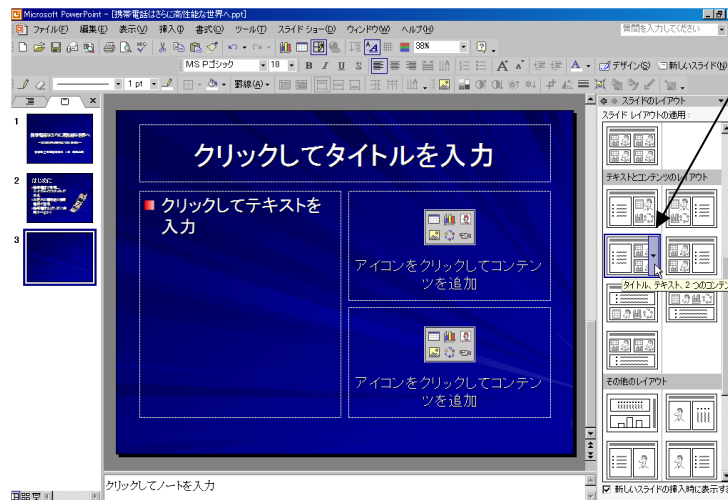


ウ. スライドに挿入されたクリップアートのサイズと文字のバランスを調整する。



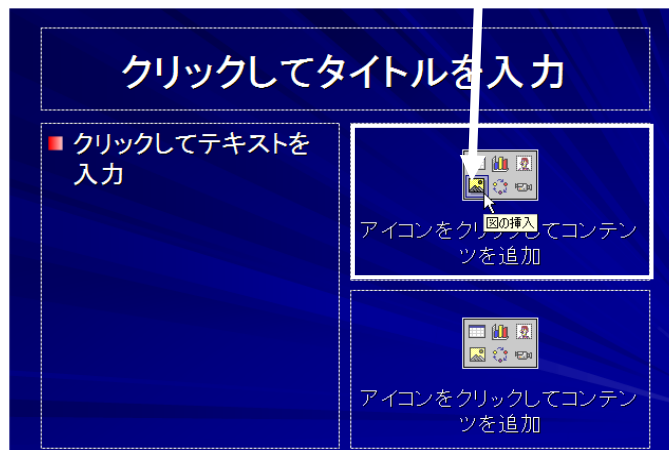
## (5) 写真とグラフを挿入する

ア. 作業ウィンドウを[スライドのレイアウト]に切り替え、[タイトルとテキスト2つのコンテンツ]をポイントし表示される▼をクリックし、新しいスライドの挿入をクリックする。



イ. スライドのレイアウトが適用され、コンテンツホルダが配置される。

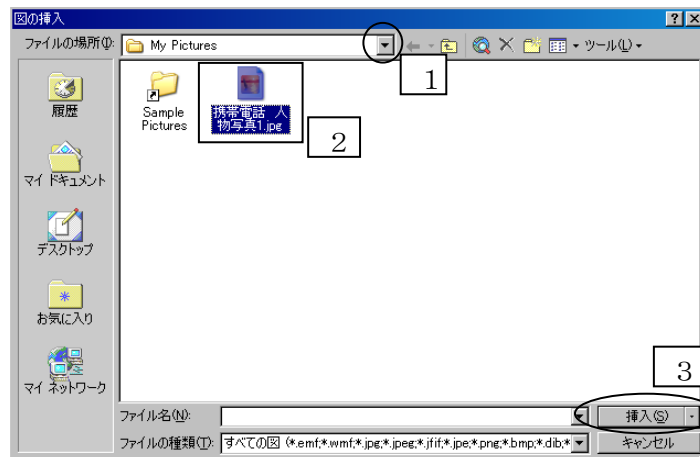
写真を挿入する。右上のコンテンツ内のアイコンから [図の挿入] をクリックする。



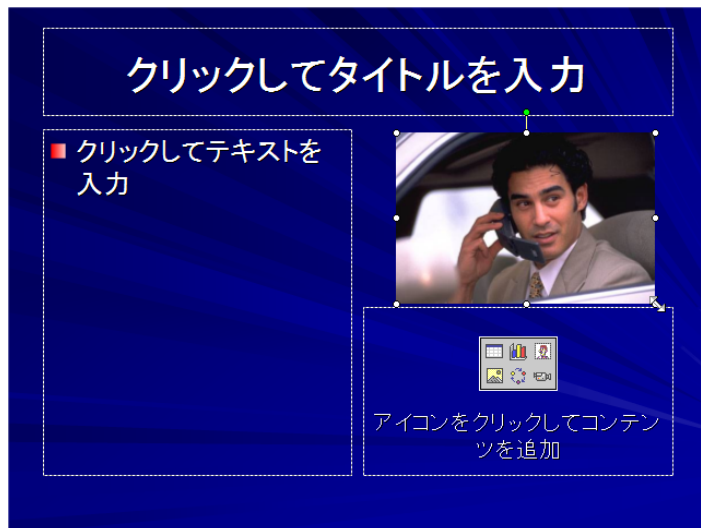
### ●挿入できるコンテンツの種類について

PowerPoint に添付されているイラスト（クリップアートと呼ぶ）や別の種類の画像をファイルから指定することができる。また、Excel 形式の表やグラフ、Media クリップ（音声や動画）も可能である。

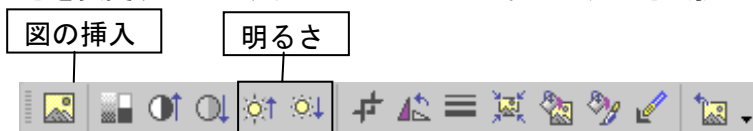
ウ. 図の挿入ボックスから、ファイルの場所 My Pictures→ [携帯電話人物写真1] をクリックし挿入する。



エ. 選択した写真がコンテンツとしてスライドに挿入される。写真のサイズを調整する。



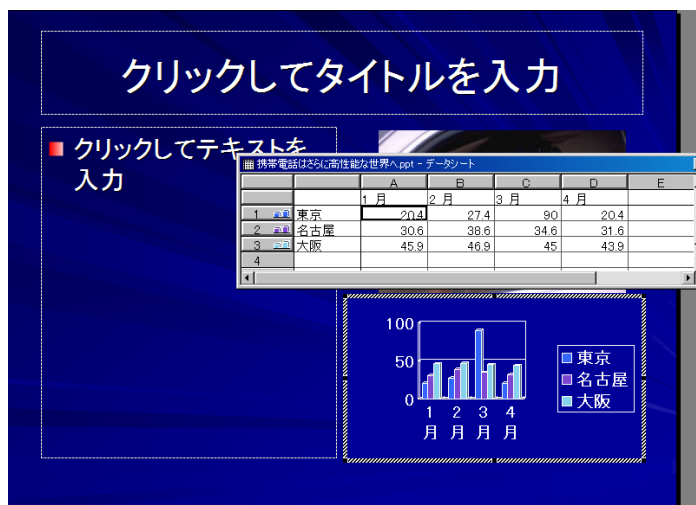
● 写真の明るさを変更するには、図のツールバーの中から明るさ（強・弱）をクリックする。



[図] ツールが表示されないときは、メニュー [表示] — [ツールバー] — 「図」 をチェックする。

オ. グラフを挿入する

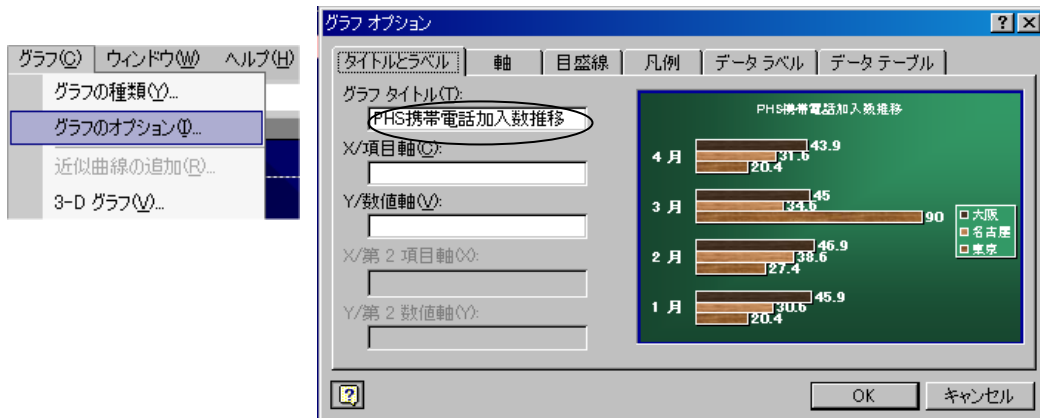
(7) 右下のコンテンツ内のアイコンから [グラフの挿入] をクリックする。



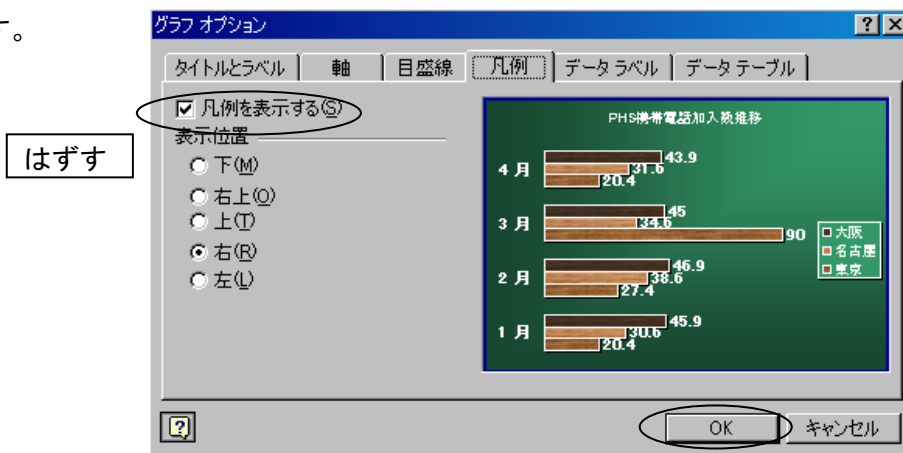
(1) メニューバーのグラフからグラフの種類を選択し、[ユーザー設定] — [アウトドア横棒] OK を押す。



(ウ) メニューバーのグラフからグラフのオプションを選択し、[タイトルとラベル] - [グラフタイトル] に「PHS 携帯電話加入数推移」と入力



(エ) グラフのオプションから [凡例] を選択し、[凡例を表示する] のチェックをはずす。OKを押す。



(オ) データシートに以下の数値を入力する。今回 1 列目には入力しない。

		A	B	C	D	E	F	G
		7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年
1	横棒 1	1171	2691	3825	4731	5685	6682	7482
2	横棒 2							
3	横棒 3							
4								

カ. 入力したデータシートがグラフに適応される。テキストホルダに文字を入力する。

### クリックしてタイトルを入力

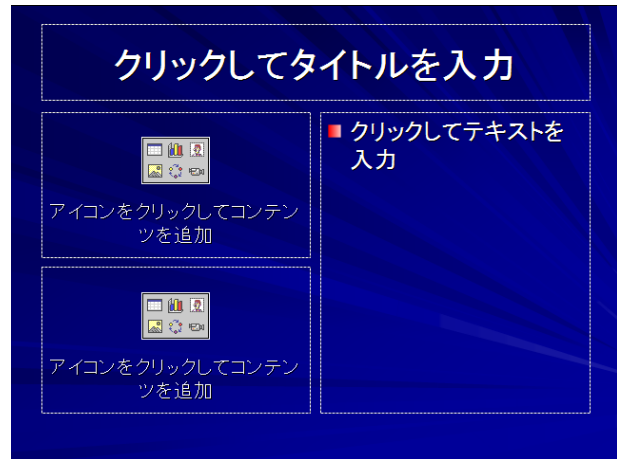
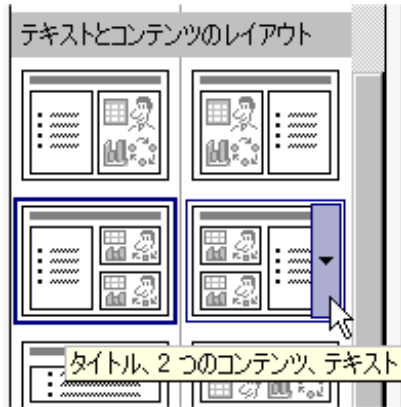
- クリックしてテキストを入力

### 携帯電話の普及状況と加入内容

- 国内PHS・携帯電話加入は7,600万件(13年度)  
15年3月末 8,111万件
- 普及率60%を超える
- インターネット接続5,000万件を超える
- iモードパケットだけで年間7,000億円の収益
- 新規ユーザーが頭打ちとなり急成長期から安定期に移行



キ. 同様に新しいスライドを完成させる。



図の挿入ボックスから、ファイルの場所  
My Pictures → [携帯電話 サンプル写真 1]  
をクリックし挿入する。

写真：携帯電話 サンプル写真 1 →

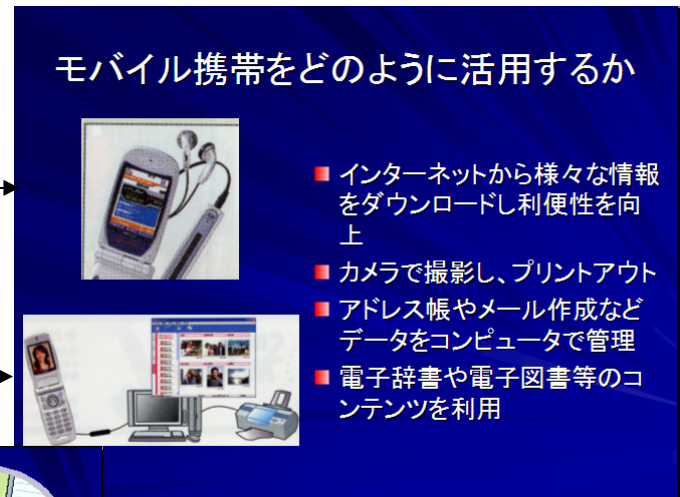
写真：携帯電話 サンプル写真 2 →




同様に新しいスライドを完成させる。

写真：携帯電話 サンプル写真 3 →

写真：携帯電話 サンプル写真 4 →



## まとめ



- これから携帯電話は使い捨てカメラを使うような感覚で使用される
- インターネットの性能強化により、情報が簡単に収集できるようになる
- 身近な人の動画やテレビ電話機能などを送受信し、コミュニケーションを図ることができる

クリップアート

## (6) スライドショーを実行する

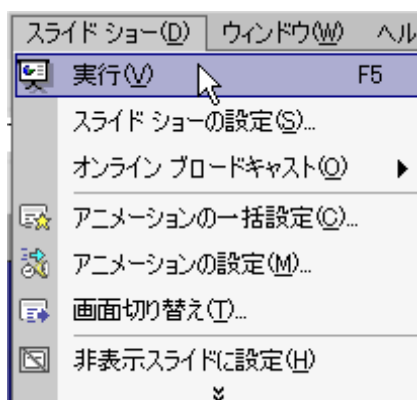
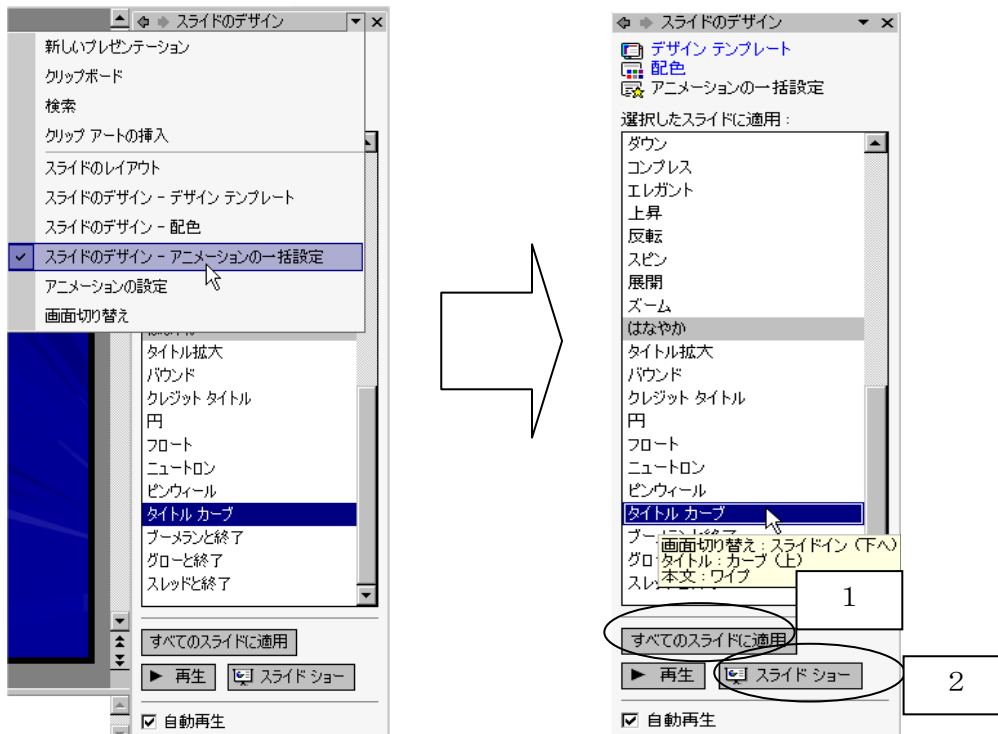
実際のプレゼンテーションを行う上での操作となるスライドショーを実行する。それに合わせて簡単なアニメーション効果を設定する。

### アニメーションの一括設定

- ア. 画面右側の作業ウィンドウを [スライドのデザイン-アニメーションの一括設定] に切り替える。
- イ. 選択したスライドに適用 [タイトルカーブ] を選択する。
- ウ. [すべてのスライドに適用] ボタンをクリックする。

### スライドショーを実行

- ア. [スライドショー] ボタンをクリックする。
- イ. 画面全体が切り替わり、スライドショーが開始される。
- ウ. **Enter** キーを押す (またはマウスを左クリックする) と次のスライドへと切り替わる。最後のスライドまで表示されると、最後に終了画面が表示され、再度キーを押すと編集ウィンドウに戻る。

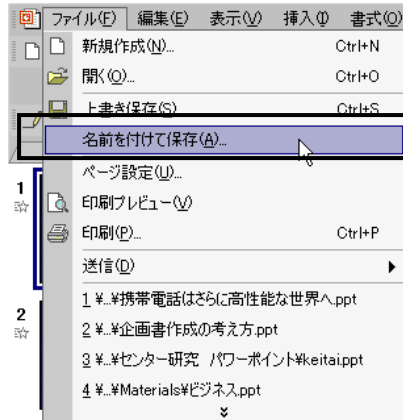


プレゼンテーションを行う場合のスライドショーはメニューバー [スライドショー] - [実行] で開始される。

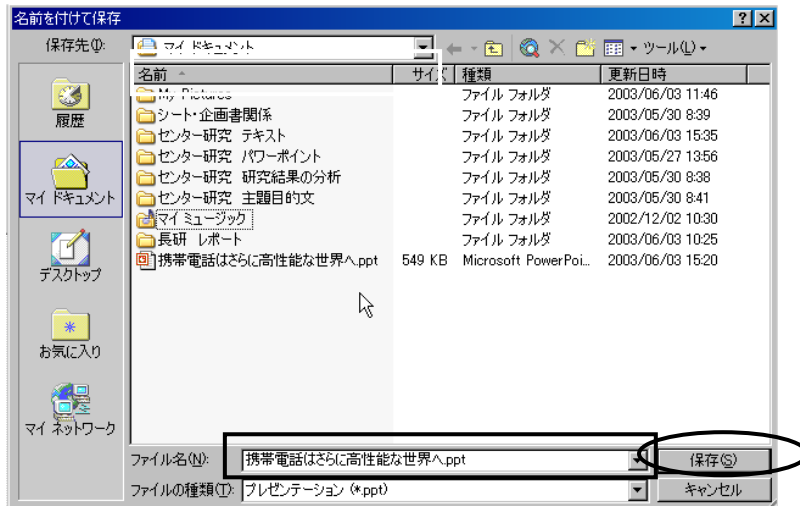
## 2. プレゼンテーション資料を保存する・開く

### (1) 作成したプレゼンテーション資料をファイルに保存する

ア. メニューバー[ファイル]から[名前を付けて保存]をクリックする。



イ. [名前を付けて保存]ダイアログボックスが表示される。保存先を「マイドキュメント」とし、ファイル名に「携帯電話はさらに高性能な世界へ」と入力し[保存]ボタンをクリックする。



### (2) プレゼンテーション資料を開く

ア. PowerPoint を起動し、メニューバー[ファイル] から[開く]をクリックする。[ファイルを開く]ダイアログボックスが表示される。ファイルの場所に「マイドキュメント」を指定し、そこに保存されている PowerPoint ファイル「携帯電話はさらに高性能な世界へ」をクリックして[開く]ボタンをクリックする。



### 3. プレゼンテーション資料を印刷する

#### (1) 配布資料を印刷する

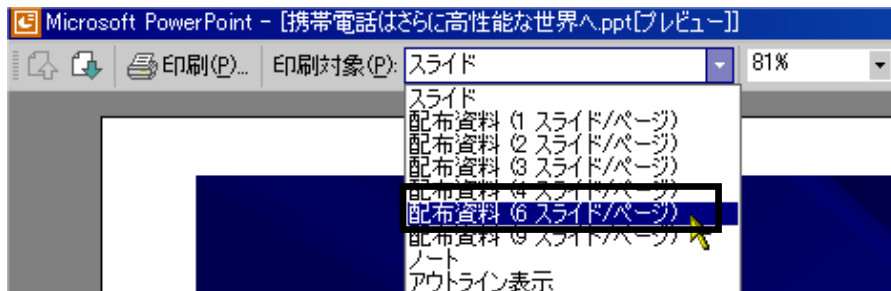
ア. 印刷の方向を設定する。

メニューバー[ファイル]の中から[ページ設定]をクリックする。印刷の向き「ノート、配布資料、アウトライン」の「縦」をクリックし、**OK**ボタンをクリックする。



イ. 印刷イメージを確認する。

(7) メニューバー[ファイル]の中から[ページ設定]をクリックする。[印刷対象]の中から「配布資料 (6スライド/ページ)」を選択する。




**携帯電話はさらに高性能な世界へ**

～あなたなら携帯をどう使いますか～

岩手県立紫波高等学校 1年 情報太郎


**はじめに**

- 携帯電話が登場し、人々のライフスタイルが変化
- 次世代の高機能の携帯電話が登場
- 携帯電話をどのように使用すべきか？



**携帯電話の普及状況と加入内容**

- 国内PHS・携帯電話加入は7,600万件(13年度)  
15年3月末 8,111万件
- 普及率60%を超える
- インターネット接続5,000万件を超える
- iモード/パケットだけで年間7,000億円の収益
- 新規ユーザーが頭打ちとなり急成長期から安定期に移行



PHS携帯電話加入数推移


年	加入数
13年	7492
12年	8882
11年	5685
10年	4791
9年	3825
8年	2881
7年	1171

**多機能化する携帯電話の動向**

- 静止画、動画の撮影に対応したデジタルカメラを内蔵(有効画素数100万以上)
- インターネットブラウザの高性能化とウェブアニメーションソフトに対応
- 赤外線通信対応機器との送受信
- 外部メモリースロットの搭載




### モバイル携帯をどのように活用するか



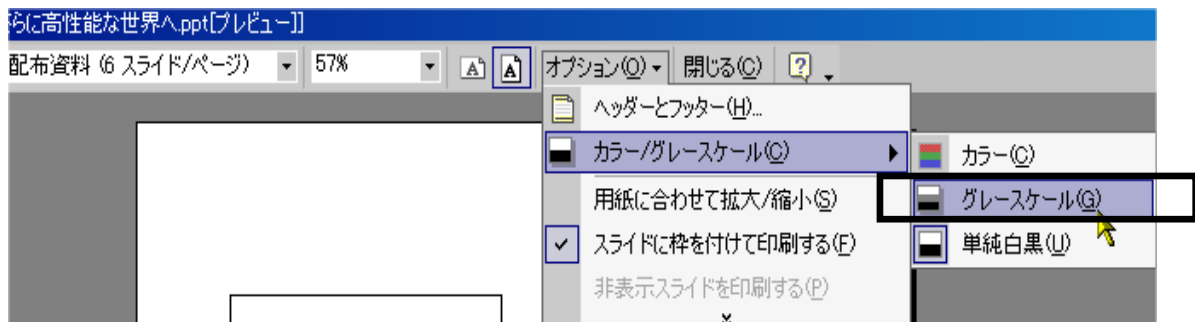
- インターネットから様々な情報をダウンロードし利便性を向上
- カメラで撮影し、プリントアウト
- アドレス帳やメール作成などデータをコンピュータで管理
- 電子辞書や電子図書等のコンテンツを利用

### まとめ



- これから携帯電話は使い捨てカメラを使うような感覚で使用される
- インターネットの性能強化により、情報が簡単に収集できるようになる
- 身近な人の動画やテレビ電話機能などを送受信し、コミュニケーションを図ることができる

(イ) 印刷プレビューのメニューバー[オプション]から[カラー/グレースケール]をポイントし、印刷する配布資料に合わせて「グレースケール」を選択する。

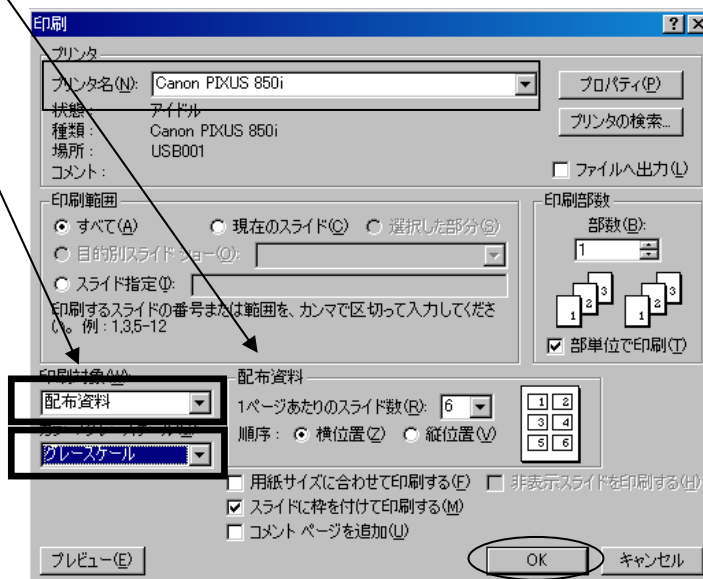


(ウ) 印刷プレビューのメニューバーから[閉じる]をクリックする。

ウ. 印刷を実行する。

メニューバー[ファイル]から[印刷]をクリックする。[プリンタ名]を選択し、印刷に使用するプリンタを選択する。

[印刷対象][配布資料]の指定を確認し、[OK]ボタンをクリックする。印刷が実行されプリンタから出力される。



## 4. プレゼンテーション本番での操作

### (1) プレゼンテーション資料作成の心得

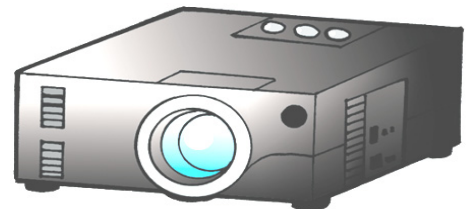
プレゼンテーションを行うときに提示する資料や配布する資料は、プレゼンテーションの内容をより理解しやすくするために用いる。文字で埋めつくされた資料は、読むだけで疲れてしまい、よい資料とはいえない。そこで、効果的にキーワードやイラスト、写真などを用いて視覚化し、一目で理解できる資料にする。

#### プレゼンテーション資料作成の心得 10 か条

1. 一目で理解できる資料にする
2. 情報は視覚化する
3. データはグラフや表にする
4. 重要な部分を強調する
5. 情報の盛り込みすぎに注意する
6. アニメーション効果は種類を少なく、多用しない
7. サウンド効果は有効ではない（会場音声出力への接続が必要）
8. テキスト（文字）はできるだけ大きく、少なく（話す言葉ではなく、キーワードを）
9. テキストフォント（書体）はゴシック体で
10. プレゼンテーションに統一感を

### (2) スライドショーを投影する

プレゼンテーション本番では、コンピュータからプロジェクタ装置に接続して、作成したプレゼンテーション資料を投影することになる。会場の大きさとスクリーンの大きさを事前に確認して、実際に投影されたスライドが聞き手にどのように見えているのかをイメージすることが大切である。また、プレゼンテーション本番にスライドショーを実行するコンピュータと作成したときのコンピュータが異なる場合、コンピュータ環境の違いによるコンピュータとプロジェクタを接続するケーブル端子の形状や装置間の距離などに注意が必要である。



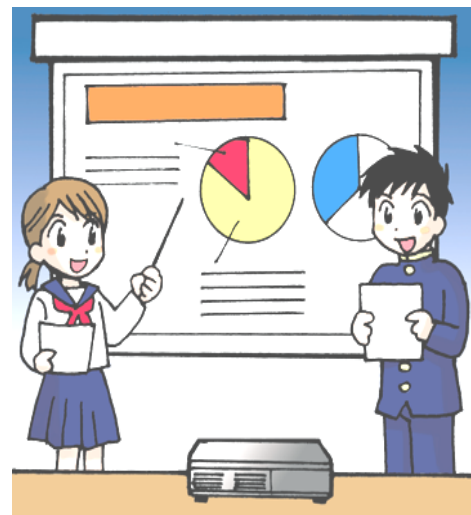
#### ア. 主役は話し手（プレゼンター）

プレゼンテーション資料はひきたて役にすぎない

コンピュータの画面を目の前にしたプレゼンテーション資料と、実際の会場で投影されたものとはかなり違った印象になることを忘れてはいけない。十分なりハーサルを繰り返す中で、プレゼンテーション資料の見直しを行っていく必要がある。

#### イ. プロジェクタとの接続

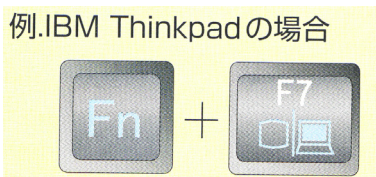
コンピュータからプロジェクタに接続するには、コンピュータ側の外部ディスプレイ出力用のコネクタとプロジェクタのRGB入力コネクタとを専用ケーブルで接続する。プロジェクタ



で投影される画像解像度に合わせて、ノートパソコンの画面解像度を調整する必要がある。また、ノートパソコンの場合、液晶パネル表示と外部ディスプレイ出力との切り替えをキーボードで行う必要がある。

#### ウ. 液晶パネルと外部ディスプレイの切り替え

多くのノートパソコンでは、外部ディスプレイ出力を有効にするための切り替えボタンがキーボードに割り当てられている。これを行わないとプロジェクタに正しく信号が送信されずに投影されなくなってしまう。下の例のようなキーボード表示がある場合は液晶パネルと外部ディスプレイの切り替えができる。



#### エ. スライドショーを操作する

スライドショーの実行中は、マウスをクリックするかキーボードの **Enter** キーを押すことで、順番にスライドショーが進んでいく。スライドを前に戻したい場合など例外的な操作は、マウスを右クリックして表示される。「ショートカットメニュー」を利用してスライドショーを操作できる。しかし、プレゼンテーション本番において画面を見ながらのマウス操作は困難な場合も多い。そのようなときにキーボードに割り当てられた基本的な操作を覚えていくとよい。

#### これだけは知っておきたいキーボード操作

1. <b>Enter</b> , <b>Space</b> , <b>→</b> , <b>↓</b>	次のスライドを表示
2. <b>Backspace</b> , <b>←</b> , <b>↑</b>	前のスライドに戻る
3. <b>F 5</b>	スライドショーの開始
4. <b>Esc</b>	スライドショーの終了
5. <b>A</b>	マウスポインタの表示／非表示